



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

民家に泊まろう in 宮古島

自宅のよりにのびのびと

島内観光が終わり、日もすっかり落ちたころ、ついに宮古島ホームステイプログラムが始まった。

は血洗いを協力してする。ホテルではない、民宿の生活であると再認識した。

入村式のあと、民家の方の車で民宿先へ。そこで心優しい歓迎をしていただき、こちらも彦根のお土産を手渡す。

まるで、自宅のようにのんびりと気持ちよく過ごしながら、宮古島の夜は更けていく。

「家のようにしてくれていいよ」と温かい言葉をかけてくださった。

（A団・驢）

お風呂をもらい、夕食をいただく。ご飯の席ではお父さんがいると宮古島のことを教えてくださいました。宮古島の家庭料理はやはり豚肉と豆腐を使ったもので、自家製の野菜などはとても美味しかった。食後



夕食は自家製のものが盛りだくさんだった。一列すべてがシークワサージュース。



沖縄の味

沖縄県の自動販売機には滋賀県では珍しいシークワサーのジュースが売られていた。実際に買って飲むとグレープフルーツジュースのような味がした。

（A団・風火）

沖繩の料理はおいしい。今日の食事は、朝はホテル、昼はお

弁当、夜は民家と場所ごとにバラエティーに富んだものとなった。特に民家の食事では沖繩の家庭料理を食べることが出来た。一例として私の泊めていただいた民家ではソーキやパイヤなどを出していた。まだまだ残りあと2日ある。おいしい沖繩の料理にも注目したい。

（A団・白樺）



今日は三食すべてを民家の方と一緒に作った。

しっかり朝ごはんを食べ、生徒たちは「朝食はあっさりイメージだが、味付けもしっかりとしておいしい」と話した。昼食はマリンスポーツ後で、みんな腹ぺこ。メニューはソーキそば、ナーベラ(へちま)チャンプルー、ご飯だ。「宮古島といえばソーキそば」とアルバラードさんはおっしゃる。麺の上には一見揚げのように見えるかまぼことテリヤキ風味付けのソーキ(肉)がのっている。和と中華が混ざったようでそばというよりうどんのような感じである。農業体験後の夕食も絶品だった。沖縄に来て初めてゴーヤチャンプルーが登場したが、ゴーヤよりも一緒にあえられていた豆腐の方を生徒たちは絶賛していた。この豆腐は近所のおばさんが宮古島の海水からとったにがりを使って作ったもので、普通の豆腐は崩れやすいが手作り豆腐は崩れにくく、にがりが大豆の旨みを引き立てている。宮古島では昔ながらの方法で作られている豆腐が近所で売られているのに魅力を感じた。

どの料理も絶品で生徒たちは食べすぎて太らないか心配している。

（B団・空）

民家の方と作る沖縄料理

ゴーヤよりも豆腐に生徒絶賛



朝



昼



夜

朝：味付けしっかりがつりご飯

昼：アルバラードさんオススメのソーキそば

夜：ゴーヤ顔負け!? 絶品豆腐